

たつの
市立 龍野歴史文化資料館

開館中

111





龍野城重造之碑

龍野城文化資料館



龍野城









龍野城

龍野城は今から五百年ほど前(室町時代)明応の末期(鶏籠山山頂に築かれたもので、初代城主は赤松村秀でありました。以後赤松時代は四代続きました。天正五年(一五七七)に信長の命による秀吉の播州征伐の軍門に降り開城しました。その後慶長初年に山頂にありつた天守が破却されたといういい伝えがあります。江戸時代に入ると龍野城は現在地に平山城として築かれましたが、万治元年(一六八四)の丸亀移転にさいして破却され、その後十四年間(一六八四)は天領となっていました。寛文十二年(一七二二)幕命によつて信州飯田から脇坂安政が五万三千石で入部し龍野城を再建しました。が、時代は既に大平の世でもあり、また外様大名でもあつたので幕府の嫌忌に触れることを怖れ御殿式の築城に決したといわれ、そのため城郭というより武装化した邸宅と考えていただければよいと思います。

現在の本丸御殿は、昭和五十四年に再建したものです。が、再建にあつては当時を偲ぶ貴重な資料や現在残る数点の古図に基づき重建したものです。

(くわしくは、龍野城史のあらまし「龍野城本丸御殿のあらまし」をござらんください。)























